



会報

WEEKLY REPORT

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22 R.I.会長

シェカール・メータ

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/深井 弘美

副会長/山本 淳

幹事/川端 正幸

[四つのテスト] 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3014回 例会報告

2021.7.16

●例会日/金曜日 <12:30~13:30>
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F
TEL 0155-25-7347

- 点鐘 深井 弘美 会長
- 開会宣言
- ロータリーソング (我等の生業)
- ビジター紹介
RI第2500地区 ガバナー 漆崎 隆 様
RI第2500地区 第6分区ガバナー補佐 合田 倫佳 様
RI第2500地区 地区幹事 池田 圭樹 様
- 会長挨拶 深井 弘美 会長



皆さんこんにちは。
 本日は、RI第2500地区ガバナー 漆崎 隆 様、RI第2500地区第6分区ガバナー補佐 合田 倫佳 様、RI第2500地区 地区幹事 池田 圭樹 様、ようこそ帯広北ロータリーへおいで下さいました。心より歓迎申し上げます。

漆崎ガバナーに於かれましては、本日で7クラブ目の公式訪問例会とお伺いしております。2500地区の公式訪問開始が、7月8日の帯広西ロータリークラブより10月5日のホームクラブの釧路ベイロータリークラブ迄、67クラブの訪問をされますが、時間にしましても移動距離にしましても激務だと思います。今現在もコロナ禍で状況あまりよくありませんが、健康に十分お気をつけて訪問頂きたいと思っております。

私たちも、3年前の細川ガバナー年度に色々なクラブに訪問させて頂き、貴重な経験をさせて頂きました。また、どこに行っても暖かく迎えて頂き、ロータリーの友情を感じることが出来ました。

先程、年度の当クラブの方針である「襷をつなごう～豊かな未来の為に～」の元にクラブ協議会を開催させて頂き、クラブの活動計画を各委員会毎に説明させて頂きました。最後に、漆崎ガバナーより総評を頂きましたので、今後の活動に生かしていきたいと思っております。

また、本日は何か月ぶりの会食付き例会となっておりますので、少しでも当クラブの雰囲気を感じ頂けたらと考えています。

後程、漆崎隆ガバナーより講話を頂くことになっておりますので、時間の関係も有りますのでこの辺りで会長挨拶を終わらせて頂きます。

■会務報告 川端 正幸 幹事

7月23日金曜日は、祝日のため休会

■ニコニコボックスの発表 山本 淳 副会長

漆崎ガバナー 合田ガバナー補佐

「ガバナー公式訪問をいただきありがとうございます。」

深井会長

「本日のガバナー公式訪問、よろしく申し上げます。」

川端幹事

「前回弁当を2個持って帰りました。」

萩原会員

■工藤会員より

松田バストガバナーより、ロータリーの親睦活動クラブのオートバイツーリングクラブを作りたいというお誘いです。

支部長に中富良野RC富樫さん、事務局に松田バストガバナーが付きまします。

キックオフミーティングは、7月30日、富良野で開催します。申し込み締め切りは7月20日、直接申込を松田バストガバナーにメールでお願いします。オートバイをお持ちの会員、興味のある会員は、是非よろしく申し上げます。

■プログラム

RI第2500地区ガバナー 漆崎 隆 様 講話

帯広北ロータリークラブの皆様 こんにちは。



今年度、RI2500地区 ガバナーの漆崎隆です。どうぞよろしくお願い致します。

今年度、RI会長はインド・カルカット・マハナガロータリークラブのシェカール・メータ会長です。

今年、2月1日から11日まで、ロータリー史上初めてウェブで国際協議会が開かれました。その初日、RI会長テーマが発表されました。その時のビデオをご覧ください。(8分間)

今年度のRI会長テーマは、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」Serve to Chang Livesです。これを受けて、地区スローガンは、「ロータリーの素晴らしさを広めましょう」といたしました。

本題に入る前に、2つお話をしたいと思います。

一つは、今、ロータリーは大きく変わろうとしていると感じるのは私一人ではないと思います。研修リソースが変わった背景には、次の様な現実があります。今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによって、つながりや奉仕の新たな機会が生まれ出されています。不変なのは、ロータリーを定義づける価値観に対するニーズです。そうして生まれたのが、2015年に発表された「ロータリーのビジョン声明」です。私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。ロータリーのビジョンの実現に向けて、ロータリーの新しい戦略計画が発表され、ロータリーの行動計画である4つの優先事項が唱えられました。「より大きなインパクトをもたらす。」「参加者の基盤を広げる。」「参加者の積極的なかわりを促す。」「適応力を高める。」です。しかし、100年以上経てもロータリーの中核的価値観は変わりません。それらの行動は「四つのテスト」、「ロータリーの目的」、「五大奉仕部門」に現れています。ロータリーの中核的価値観とは、「親睦 (Fellowship)」「高潔性 (Integrity)」「多様性 (Diversity)」「リーダーシップ (Leadership)」です。次の100年を目指して、様々な事が検討され実行されつつあります。「SRF委員会 (未来形成委員会)」「DEI (多様性、公平さ、開放性)方針」「ロータリーアクトの参加」等です。

もう一つは、如何にコロナ禍による影響からロータリアンが元氣を取り戻し、地域のリーダーとして、地域に活気をもたらすか、です。このことが、今年度、一番力を入れたい所です。ロータリーの素晴らしさとは 何でしょうか？コロナ禍のこんな時だからこそ、立ち止まって、もう一度ロータリーの原点を見つめて直して見ませんか？ロータリーは、慈善団体ではありません。発展途上国の援助が目的の団体でもありません。お金集め、人集めが目的の団体でもありません。ロータリーの本質には素晴らしい魅力があります。ポールハリスの「ロータリーとは何か」と言う自問自答が「My Road to Rotary～ロータリーへの道」に出ています。ロータリーとは何か、何千人のロータリアンに聞けば、何千通りの答えが返って来るだろう。しかし、もしロータリーが、より寛容で、より他の人の良さを認め、より他の人と親しく交わり、助け合うようにしてくれるなら、そして、人生の美しさと、喜びを発散し、伝える様にしてくれるなら、それが、我々が求めるロータリーの全てである。それ以上、ロータリーに何を求めることがあろうか、と記しています。

もう少し、ロータリーの原点を見つめてみましょう。

ロータリーを始めたのは「ポールハリス」です。ロータリーの基礎に「Service サービス」をすえたのは、アーサー・フレデリック・シェルドンです。「サービス」は、日本語に翻訳されたのは「奉仕」ですが辞書 (広辞林) でひくと、仕 (つか) えまつること。自己の利害をはなれて長上の者や公共のために尽く



すこと、と書いてあります。これは、ロータリーの職業奉仕にはなりません。サービスと言う言葉が日本で使われている多くの意味は、労力や金品を無料で相手やかわいいような人にやってあげる、与えてあげると言う意味に使われる事が多い様です。ロータリーでは、お医者さんが無料で診断をして上げる事は、職業奉仕ではありません。むしろ社会奉仕です。また、弁護士が無料相談をして上げる。これも職業奉仕にはなりません。社会奉仕と言えるでしょう。英語で職業は、オキュペーション (occupation) ですが、ロータリーの職業は、ヴォケーション (vocation) です。つまり、ヴォケーションは天職、天から与えられた、神様から与えられた、世の中のためになる職業です。これは、ロータリーの職業は人々が、社会が必要でないものはひとつもありません。と言うことです。私が34年前、ロータリークラブへお誘いを受けた時に、ロータリーの名前は知っていたのですが、どんなクラブか分かりませんでした。その時、「ロータリーとは何ですか」と尋ねました。会員の方から、ロータリーとは「親睦と奉仕です」と言われました。その時、39歳の私は、親睦は何かわかるんですが「奉仕」ということは何ですか」問い返しました。そしたらその会員が「奉仕とは、自分の仕事職業を一生懸命やることです。そうして、仕事で知り合った相手に心から喜んでいただくこと。それが、本当のロータリーの奉仕です。」と言われました。それなら、仕事が忙しくて、飛び歩いていた私にもできるかなと思ひまして、入会させて頂きました。

まだまだお話をしたいのですが、限られた時間ですので、地区方針についてお話ししたいと思います。

地区方針は、地区の明るい未来の為に、地域の人々と「親睦と持続可能な奉仕活動の推進」といたしました。具体的な目標は、次の通りです。

1. 会員増強の目標をたて実行しましょう。
先ほどメータ会長がおっしゃっていました、「each one, bring one」「新会員を紹介しましょう。」ということが基本であります。大きな目標の120万人の地球上のロータリアンを130万人にしたい、という大きな目標を掲げました。その一人でも、皆さんと一緒にやり抜こうではありませんか。
2. あと一步のポリオ根絶に協力しましょう。
あと2カ国となりました。今年の発生件数は1月から2件であります。もう少しのところまで来ました。皆さんと一緒に、このポリオを地球上から根絶しようではありませんか。今一度、ご協力をよろしくお願い致します。
3. 戦略計画委員会を立ち上げ、クラブの活性化をはかりましょう。
これは、大変いかつい委員会名なんですが、「100年委員会」という地区もあるようでございます。その方が分かりやすいかも知れませんが、クラブ創立会員の想いを、現在クラブの活性化に大変大きな影響を与えていると思います。これからの未来に向けて今年1年、来年、そして50年先、100年先に向けてみんなで考えて行くではありませんか。クラブの未来と今年できること、こういう戦略計画委員会を立ち上げ、そして皆さんと一緒にディスカッションしたいと思ひます。
4. 今期も寄付ゼロクラブをなくしましょう。
4年ほど全国で寄付ゼロクラブがないことが続いております。是非、今年も皆さんと一緒に、この寄付ゼロクラブを2500地区から0にして、全国の意志を皆さんと共に達成の喜びをしたいというふうに思ひます。
5. 米山留学生の母国を理解し親交を深めましょう。
毎年多くの留學生が我が地区に参ります。特に帯広地区の皆様方には、米山委員会活動そのものももちろんですが、留學生に対しても、ホスト等大変親しく、またお世話していただき、誠にありがとうございます。その母国を代表して、この日本の地、北海道の地、ここで勉強している学生たち。日本で学んで、そのことは母国に帰って、母国のリーダーとして今後活躍する学生たちです。どうかひとつ、母国の留學生と親しくなると共

に、コミュニケーションをはかりながら、理解をしながら世界平和へと結びついていければこんなに嬉しい事はないというふうに思ひます。よろしくお願ひいたします。

6. RLIを推進しましょう。
先ほど協議会でもちょっと申し上げたのですが、私は、RLIはお酒を飲まない炉辺会合というふうに思ひます。ロータリーを学び、先輩も、それから新入社員も公平で本当に心を打ち明けた会話をしたいものです。また、それが楽しめます。ロータリーについて色々な考えを交えながら親交を深めれば、RLIが必然的に自然にロータリーことを学ぶことができます。このRLIの企画に皆様と一緒に参加していただきたいと思ひます。
7. 「ロータリー奉仕デイ」を地域の人々と共に実施しましょう。
ロータリーの友、7月号18ページ19ページに、メータ会長のロータリー奉仕デイについて詳しく載っております。ガバナー補佐にも資料から新しいURL等の詳しくお話しがあると思ひます。「ロータリー奉仕デイは、何をやるの?」ということに、2820地区茨城の方ですが、ここでは地球環境保全プロジェクトと称しまして、ロータリーの7つ目の重点項目に上がりました環境について、昨年から国連と話をしまして、地球環境を守ろうと言う事業に取り組んでおります。海岸のプラスチックゴミを拾って、そして生態系に影響を与えないような地形にしようとはじめています。これが9月12日に2820地区にシェカール・メータ会長が「これは素晴らしい事」と言って、各国のロータリアンに申し上げたもんですから、今現在20カ国以上の国が賛同いたしまして、この日にそれぞれの海岸、それぞれの河川、それぞれの湖、至る所で賛同した人たちが参加するように今スタートをしているところでございます。是非この内容をご理解いただきながら、1クラブでも参加でき、分区でも、地区でも参加できる事業で、その時の様子をスマホで撮影して送りますと写真コンテストもするそうです。インドの海岸でも、アフリカの海岸でも、もちろん日本の海岸でも、そういうことが催されるようになっております。是非ご検討いただければ思ひます。
8. ローターアクトと種々の行事を共に行いましょう。
ローターアクトには、素晴らしい能力があります。国際協議会では、6名の日本のローターアクトが参加いたしました。本会議、分科会に参加してございまして、大変立派な発言をしております。ローターアクトは、2022年7月1日から、補助金事業ができることになりました。そして、今年その申請が始まります。皆さまのローターアクトへのお誘いで是非ロータリアンの奉仕事業をいろんな例会等にお招き頂きながら、将来のこの地区を背負って立つリーダーになるようにお手伝いをしてあげれば思ひますのでよろしくお願い致します。
9. 家族同伴例会を増やし、パートナーや家族にロータリー活動の理解と共に、素晴らしさ・楽しさを味わってもらいましょう。
この通りであります。まず身近なパートナー・奥様・家族にロータリーの素晴らしさをお伝えしながら、楽しさも味わっていただきたいものという風に思ひます。
もう一度申し上げます。
コロナ禍を乗り越えるには、皆さまのクラブが元気になることです。一人一人のロータリアンが元気になってリーダーシップを全ての面で発揮することです。地区でも、地域でも、クラブでも、家庭でも、そのとおりであります。それにはまず、原点の家庭のリーダーシップを発揮する皆さまに奥様を連れて、是非、ヒューストンと一緒に行くことはありませんか。人類が月へ出発したヒューストン。素晴らしい発見があると思ひます。是非、お考えいただきたいと思ひます。
私のスピーチを聞いていただきまして誠にありがとうございます。

■ 次週のプログラム予定

7/30 「ゲスト卓話又は会員卓和」

■ 閉会宣言

■ 点鐘 深井 弘美 会長

例会案内

〈月曜日〉 広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉 帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉 足寄RC:足寄銀河ホール21
 帯広南RC:北海道ホテル 上土幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館
 〈火曜日〉 芽室RC:めむろ一どセミナー 音更RC:ハビオ木野 帯広西RC:北海道ホテル
 帯広東RC:ホテル日航ノースランド

■ 出席報告/石井 宏治 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	メークアップ	欠席	出席率